

どの DIMM が UCS B シリーズ ブレード サーバの障害 LED をトリガーしたか判断する方法

内容

[概要](#)

[どの DIMM が UCS B シリーズ ブレード サーバの障害 LED をトリガーしたか判断する方法](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco UCS BシリーズブレードサーバでDIAG SWスイッチを使用して、どのDIMMが前面パネル障害LEDをトリガーしたかを判別する方法について説明します。

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

Q. UCS Bシリーズブレードサーバで障害LEDをトリガーしたDIMMを判別するにはどうすればよいのですか。

A. DIAG SWスイッチを使用して、UCS Bシリーズブレードサーバの前面パネル障害LEDをトリガーしたDIMMを判別するには、次の手順を実行します。

1. サーバの前面パネルにある障害インジケータLEDを確認して、システムに障害が存在することを確認します。



2. ログを表示します。次の例は、DIMMの問題を示しています。

Server 1/6:

Array 1:

DIMM Location Presence Overall Status Type Capacity (MB) Clock

```
-----  
1 DIMM_A1 Equipped Operable Other 8192 1067  
2 DIMM_A2 Equipped Operable Other 8192 1067  
3 DIMM_B1 Equipped Operable Other 8192 1067  
4 DIMM_B2 Equipped Operable Other 8192 1067  
5 Equipped Operable Undisc Unknown Unknown  
6 DIMM_C2 Equipped Operable Other 8192 1067  
7 DIMM_D1 Equipped Operable Other 8192 1067  
8 DIMM_D2 Equipped Operable Other 8192 1067  
9 DIMM_E1 Equipped Operable Other 8192 1067  
10 DIMM_E2 Equipped Operable Other 8192 1067  
11 DIMM_F1 Equipped Operable Other 8192 1067  
12 DIMM_F2 Equipped Operable Other 8192 1067
```

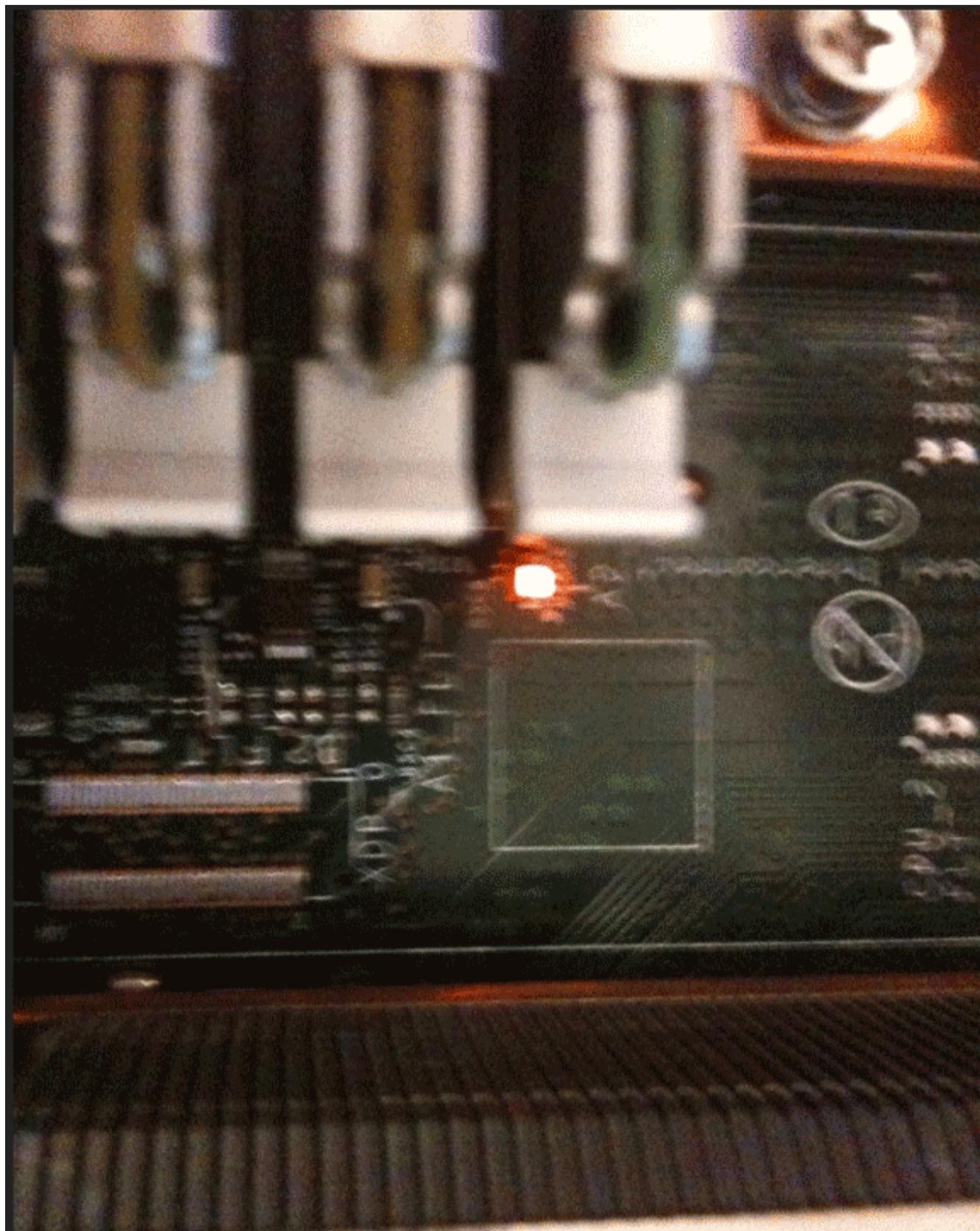
3. サーバとカバーを取り外します。

4. マザーボード上のDIAG SWスイッチを見つけます。注：DIAG SWスイッチは、サーバ間で異なる場合があります。

5. DIAG SWボタンを押します。



6. 障害のあるDIMMを見つけます。障害のあるDIMMは赤色のLEDで識別されます。



関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)